



リーフレット制作活動を通じて
「ユネスコ世界寺子屋運動」を応援しよう！

寺子屋リーフレット制作プロジェクト 2022年度 〔ガイドライン〕



主催：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

**共催：一般社団法人デジタル表現研究会 (D-project)
株式会社教育新聞社**

寺子屋リーフレット制作プロジェクトとは・・・

「ユネスコ世界寺子屋運動」を学習の題材として、子どもたちが「非識字」という世界の課題や、その背景にある社会的・文化的多様性を知るとともに、課題解決の方法について考え、身近な地域で行動を起こすというつながりを重視したESD学習活動。
具体的には、調べ学習を通じて題材への理解を深めた後、デジタル機器を用いて、書きそんじハガキ提供を呼びかける「リーフレット」を制作し、それを活用して実際にハガキ集めの活動を行う。

★プロジェクトのホームページ：

<http://www.unesco.or.jp/teacher/terakoya-leaflet-production-project>



ユネスコ世界寺子屋運動とは・・・

世界には、内戦や貧困などの理由で学校に行くことができない**6～14歳**の子どもたちが**約1億1900万人**もいるといわれています。学校へ行けないうまま大きくなり、文字の読み書きができない大人も**約7億7,300万人**います。(UNESCO Global Education Monitoring Report 2021-22)
ユネスコ世界寺子屋運動は、このように教育を受けられない人々に、「寺子屋＝学びの場」を無償で支援する日本の市民運動です。

★ユネスコ世界寺子屋運動のホームページ：

<https://www.unesco.or.jp/activities/terakoya/>



プロジェクトの目的

子どもたちが、世界が直面する課題に学び、取り組む経験(＝リーフレット作りと書きそんじハガキ回収)を通して、人権や国際理解への意識を深め、将来の自らの生き方をどう描くか考えることで、全人的な成長を目指します。

対象

小学校・中学校・高校
(参加単位は、学校・学年・学級・クラブ活動・生徒会など不問)



必要時間数(目安)

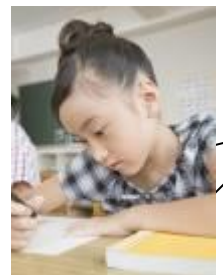
- 「ユネスコ世界寺子屋運動」の調べ学習:2～3時間程度
 - リーフレット制作学習:3～5時間程度(修正学習を含む)
 - 書きそんじハガキ回収などの支援活動:0～2時間程度(可能な範囲で)
- ※上記時間数はあくまでも目安です。各校の状況に応じて、時間数は自由に調整してください。

学習のねらい

- ・「調べる」→「考える」→「表現 / 創る」→「発信する」→「まとめる」→「行動する」といった複合的な“学びのプロセス”の中で、子供たちが豊かな学力を身につけます。
- ・児童・生徒は、校内・校外、異年齢、地域社会との“学び合い”から、相手の立場に立って考える力や、思いやりの心を持ち、人と人、また社会とのつながりを実感します。

身につける力

- ・調べ学習(UNESCO、日本ユネスコ協会連盟、貧困問題、識字問題など)
→思考力、判断力、読解力、情報活用能力
- ・リーフレット制作と相互評価
→考えをまとめる力、表現力、デジタルデザイン力、プレゼンテーション力
- ・書きそんじハガキ回収活動、募金活動
→コミュニケーション力、協働力、行動力、社会に働きかける力



1年間の流れと学びのプロセス(モデルケース) ※実際の進行は、各校の状況に応じてご計画下さい。

6月～	参加校募集	
7月30日	参加申込受付締め切り 参加校は、プロジェクト専用のメーリングリスト、およびDプロジェクトに参加する教員「D-all」に登録します。	
8月～	調べ学習開始（日ユ協連からの資料送付・貸出資料受付開始） 「ユネスコ世界寺子屋運動」について調べます。ウェブサイトや参加校に提供される映像や資料などを通して、学校に通えない子どもや文字の読み書きができない人びとが世界にはたくさんいることなどを学びます。そして、なぜそのような状況が生まれるのか、世界が抱える問題を探ります。 オンライン・キックオフミーティング(オンライン・教員対象)＜任意参加＞ 参加校同士で実践事例を共有し、その後の活動に反映します。 オンライン・カンボジアスタディツアー(対象校のみ) カンボジアと中継をつなぎ、寺子屋で学ぶ子どもたちとリアルタイムで交流します。	
調べる 考える		
9月 ～10月	リーフレットづくり ＜必須＞ 調べ学習や、地域ユネスコ協会などの出前授業を踏まえて児童生徒が自分たちに何ができるかを考え、一つの方法として書きそんじハガキの提供を呼びかける「リーフレット作り」を実践します。 リーフレットは、手書きでラフスケッチを描いてリーフレットのデザインを練った後、パソコンで仕上げます。	
表現する		
11月 ～12月	リーフレットのブラッシュアップ グループやクラスの中で、他の人から意見をもらったり、お互いに評価し合いながら、一度作ったリーフレットをさらにブラッシュアップします。実際に社会で使われることを想定して、キャッチコピーや写真のレイアウト、色合いなどにも気をつけます。	希望に応じ、学校 同士・生徒同士の 交流会も実施いた だけます。 (開催時期自由)
まとめる		
1月13日	リーフレット 代表作品提出 ＜必須＞	
発信する	リーフレットが完成したら、校内で代表作品を2作品まで選び、リーフレットコンテストに出品します。 (作品はデータで提出)。	
1月下旬～	書きそんじハガキ集めの活動 ＜可能な限り実施をお願い致します＞ 自分たちで作ったリーフレットを実際に活用し、書きそんじハガキや募金を呼びかけます。 社会に働きかける体験を通して行動力を身につけます。	
行動する		
2月1日～ 28日	リーフレットコンテスト(インターネット上での一般投票) ＜必須＞ 各学校の代表作品を日本ユネスコ協会連盟のホームページに掲載し、参加校はもちろん一般の方にも投票をしてもらいます。コメントを記しての投票で、活動の振り返りになり、言語活動の充実につながります。	
3月 上～中旬	審査員による2次審査、受賞作品発表 インターネット投票結果の上位作品を対象に、審査員による2次審査を行い、受賞作品を決定します。	
社会に 貢献	ハガキをユネスコ協会へ(感謝状の受け取り) 近隣にユネスコ協会がある場合、学校で集めた書きそんじハガキや募金をユネスコ協会に手渡し、ユネスコ協会から感謝状を受け取ります。 振り返りミーティング(オンライン・教員対象)＜任意参加＞	
下旬		
約1年後	子どもたちの活動が形に！ 書きそんじハガキや募金などを集めてくれた参加校に対しては、学校名を入れた銘板(他参加校との連名)を、新しく建設するカンボジアの寺子屋に設置します。	
世界と つながる		

リーフレット制作にあたって

- ・リーフレットに使用する写真は、参加申込後、日本ユネスコ協会連盟から新たに提供する素材を使用してください(2022年8月末頃提供予定)。過去の写真や自分でインターネット上から探してきたデータを使用した場合は、コンテストの審査対象となりません。
- ・当協会連盟ロゴマークのデータも提供致しますので、ご活用ください。
- ・1人1作品ずつの制作でも、グループやクラスごとの制作でも、どちらでもかまいません。
- ・使用していただくソフトの指定は特にありません。
- ・リーフレットコンテストに出品する学校代表リーフレット(2作品以内)は、**画像ファイル(JPEG、BMP等) またはPDFの形式**でご提出ください。

参加校に対するサポート

1. 資料提供

リーフレット制作に必要な支援地(カンボジア)の写真画像や当協会連盟のロゴマークなどの著作物を提供いたします。

2. 貸し出し物

「ユネスコ世界寺子屋運動」を学ぶための「カンボジア学習キット」などを、無料で貸し出します。1校につき年間1回。

3. 地域ユネスコ協会や過去のスタディツアー参加経験者とのマッチング

学校の近隣のユネスコ協会過去のスタディツアー参加者との連携をサポートします。参加校からのご希望に応じて、「出前授業」や「書きそんじハガキ／感謝状贈呈式」に、対応できるユネスコ協会関係者をご紹介します。
「出前授業」・・・謝金のご用意は必要ありませんが、交通費のご負担をお願いします。
「贈呈式」・・・交通費は当連盟で負担します。
詳細は、お電話もしくはメールで担当者(次頁)へお問い合わせください。

4. メーリングリスト(ML)

参加校の先生専用のメーリングリストを設けます。
本プロジェクトに関するご連絡をはじめ、リーフレット制作に関わるコンピューター操作などの技術的なご質問、リーフレット作りのコツ、授業方法などについて、参加校同士の情報交換が可能です。
※本プロジェクト専用のML以外に、一般社団法人デジタル表現研究会(D-project)が運営する全ての学習プロジェクト参加者が含まれるML「D-ALL」への登録もあります。

※その他、2021年度は「リーフレット制作報告会」をオンライン開催し(1月)、参加校の子どもたちがリーフレット制作への思いを共有する場を設けました。今年度も、状況に応じて開催を検討します。

特典

受賞作品の作者には賞状を、またその他の学校代表作品の作者には日本ユネスコ協会連盟より奨励賞(感謝状)を贈呈します。

リーフレットコンテストに代表作品を提出し、書きそんじハガキの回収や募金活動で「ユネスコ世界寺子屋運動」にご協力いただいた学校は約1年後、支援地のカンボジアに新しい寺子屋を建設した場合、銘板に学校名が記載されます。

■参加条件

1. PCやタブレットを利用して、「世界寺子屋運動」を支援するリーフレット制作が可能なこと。
(使用していただくソフトの指定は特にありません。)
2. 各校の代表リーフレット(2作品以内)を、製作者の実名とともに2023年1月13日(金)までに提出できること。(Web等ではイニシャル表記を希望する場合も、代表作品の制作者には後日、感謝状を贈るため、実名と合わせてご提出ください。)
3. 参加について学校長の承認を得ること。
(参加校名、参加生徒名が Webサイトなどで公開されるため。記載される参加生徒名にイニシャル等を用いる場合は、別途ご連絡下さい)
4. 担当教員は、本プロジェクトのメーリングリストに登録し、Eメールでの連絡が可能なこと。
(本プロジェクトに関する諸連絡は、メーリングリストを通じて行います。)
5. D-Project「D-All」へのご登録、アンケート(授業の進め方などについて 年1-2回)へのご協力をお願いします。

■参加申込方法

2022年7月29日(金)までに、下記フォームよりお申込みください。
ただし、申し込み多数の場合は、早めに締め切る可能性があります。

【申し込みフォーム】 <https://forms.office.com/r/UDrxyZZrk0>



フォームにアクセスできない場合は、下記必要事項を明記の上、Eメールにてお申し込みください。

<必要事項> ※メールの件名は「寺子屋リーフレットPJ参加申し込み」とご記入ください。

1. 学校名、 2. 学校住所、 3. 学校TEL、 4. 校長名、 5. 担当教員名
6. 担当教員メールアドレス、 7. 参加形態(学年、クラス、委員会、クラブ活動など)
8. 参加児童・生徒数(大体でかまいません)
9. ユネスコスクール加盟状況(①加盟している ②キャンディデート校 ③加盟していない)

<申し込み先> 日本ユネスコ協会連盟・寺子屋リーフレット制作プロジェクト係
Eメール: terakoya-school@unesco.or.jp

■本プロジェクトに関するお問い合わせ先

日本ユネスコ協会連盟 寺子屋リーフレット制作プロジェクト係
TEL:03-5424-1121 FAX:03-5424-1126 Eメール: terakoya-school@unesco.or.jp
住所: 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階

リーフレットコンテスト

・各参加校の代表リーフレットをインターネット上に公開し、一般投票を行った後、審査員による選考を経て受賞作品3点(下記)を決定します。

・受賞作品・・・A3サイズの「賞状」をお送りします。

1)最優秀賞 「日本ユネスコ協会連盟賞」(1点)

2023年度「書きそんじハガキ・キャンペーン」の公式チラシに素案として活用されます。

2)優秀賞 「Dプロジェクト賞」(1点)

「教育新聞社賞」(1点)

※2021年度は、下記3作品に加え、審査員特別賞1点も選出されました。

・奨励賞(受賞作品以外の各校代表作品)・・・A4サイズの「奨励賞 賞状」をお送りいたします。

【主催】日本ユネスコ協会連盟とは

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟は、UNESCO憲章の精神に共鳴した人々によって1947年、世界にさきがけて仙台で始められた民間ユネスコ運動の日本における連合体でNGO(非政府組織)です。現在全国に約 274のユネスコ協会があり、さまざまな活動を行っています。日本ユネスコ協会連盟のホームページ：<https://www.unesco.or.jp/>

【共催】D-projectとは

D-projectは、「デジタル」「デザイン」の2つのDをキーワードに、ITにふりまわされることなく、子どもたちの学びを見つめて授業をデザインしていこうとする姿を提案したいという願いから、中川一史(放送大学 教授)を会長とし2002年4月に発足しました。

D-projectのホームページ：<http://www.d-project.jp/>

【共催】教育新聞社とは

教育新聞社は、教育専門の報道メディア「教育新聞」を発行する会社です。電子版をデイリー更新、新聞紙面を週2回発行しています。「学校を変えるファクトがある」をタグラインに掲げて、教育の変革をリードするジャーナリズムを提供しています。

教育新聞社のホームページ：<https://www.kyobun.co.jp/>

<参考> 2021年度リーフレット・コンテスト参加校リスト (24校)

北海道：	海星学院高等学校 立命館慶祥高等学校	三重県：	暁学園暁小学校
秋田県：	秋田県立秋田高等学校	京都府：	平安女学院高等学校
東京都：	東京都市大学等々力中学校・高等学校 東京都立杉並総合高等学校 立教女学院中学校・高等学校 聖徳学園中学校・高等学校	大阪府：	大阪教育大学附属高等学校池田校舎 大阪教育大学附属天王寺中学校 大阪府箕面市立豊川北小学校 関西学院千里国際中等部・高等部 羽衣学園高等学校
神奈川県：	神奈川県立有馬高等学校 北鎌倉女子学園中学校・高等学校	奈良県：	奈良教育大学附属中学校
富山県：	富山市立呉羽小学校	岡山県：	清心女子高等学校
岐阜県：	岐阜市立島小学校	徳島県：	徳島県立城ノ内中学校・高等学校
愛知県：	愛知県立犬山高等学校	福岡県：	福岡県立武蔵台高等学校
		鹿児島県：	KTC学園おおぞら高等学校

最優秀賞「日本ユネスコ協会連盟賞」受賞作品一覧

2003年度



石川県金沢市立扇台小学校

2004年度



大阪府・羽衣学園高等学校
3年 藤本芳美

2005年度



北海道・石狩市立生振小学校
6年 田面勝行

2006年度



鹿児島県・日置市立土橋小学校
4・5・6年生

2007年度



徳島県立城南高等学校
3年 井村美成子

2008年度



三重県・暁学園暁小学校
6年 太田美帆

2009年度



神奈川県・公立国際学園 中部部
2年 出口・酒井

2010年度



大阪市立扇町総合高等学校
3年 坂本・石原・吉竹

2011年度



福岡県立城南高等学校1年
澤野美咲、近藤美鈴

最優秀賞「日本ユネスコ協会連盟賞」受賞作品一覧

2012年度



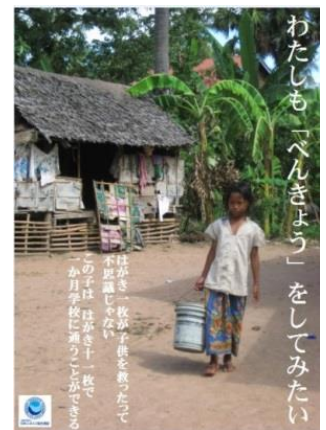
大阪府・羽衣学園高等学校
2年 宮野結衣

2013年度



奈良教育大学附属中学校
1年 南島奈々

2014年度



富山市立蛭川小学校
6年 津田桜香

2015年度



愛知県立津島北高等学校
3年 飯田麻衣

2016年度



北海道札幌平岸高等学校
1年 村本菜摘

2017年度



東京都立三田高等学校
Y・Y

2018年度



神奈川県立有馬高等学校
1年 市川颯太

2019年度



神奈川県立有馬高等学校
1年 中野希波

2020年度



北鎌倉女子学園高等学校
2年 佐々木櫻子

昨年度(2021年度) 受賞作品一覧

■ 最優秀賞「日本ユネスコ協会連盟賞」



「きぼう」ってどうかくの？
 ～文字を書けることが希望となる～

十一枚の書き損じハガキで
 一人の子供が1ヶ月学校に通えます



北鎌倉女子学園高等学校2年 増田碧

■ 優秀賞「教育新聞社賞」



学ぶことは子どもたちの希望

ハガキ1枚で救えるものがある

箕面市立豊川北小学校 5年1組

■ 審査員特別賞



私たちの青春は
 これからだ。

子ども時代に学ぶ機会を得られなかった大人たちへ
 あなたのはがきで彼らの青春を応援しませんか？



立教女学院高等学校2年 Hinako N.

■ 優秀賞「D-project賞」



ある国の人々の
 笑顔を守るために

思いを届けてみたく
 ないですか？
 世界寺子屋運動

あなたのその気持ちで
 夢をかなえられる
 人がいます。

羽衣学園高校2年 藤井碧奈